

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズルヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



みんなでココナッツを食べてます(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

多くの方々既に御存知のこととは思いますが、9月6日の未明に、胆振地方を震源地とする最大震度7の地震が北海道を襲いました。

私の居住する旭川は震度4とのことですが、場所によってはそれ以上の揺れを感じ、大きな被害の無いことを願いました。

この地震により、ガス、電気、水道等のライフラインが寸断され、中でも、電気が止まったことは、北海道全体に大きな影響を与えました。

このような大災害が身近で起こる時代になってきた、と言葉でいうことができるかもしれませんが、被害を考えると心が痛みます。

増して、弱い立場である子供たちに対してはどれほどの損害があるのでしょうか。

ただ、今回の震災を通して、やはり、日本のファミリーフォームの働きを急いで進めて行く必要を痛感させられます。どうか皆さまの御協力を何卒お願いするばかりであります。

海外の孤児院からも、子供たちの成長とともに、さらなる必要を訴えてきております。

また、皆さまの御支援は、そのまま子供たちのいのちを支えております。

海外の孤児院、子供たちのためにも、どうか御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

高校卒業試験の結果が発表されました。結果は3人が合格し、2人は残念ながら不合格でした。これから、それぞれの進んでいく道が分かれて行くかと思いますが、3人は大学進学を願っています。内1人は、医療関係に進みたいという希望があり、入学試験がありますので現在その為の補習を受けております。もし試験に合格すれば、授業料が免除になるという特典があるそうなので、ぜひ頑張ってもらいたいと思っています。彼らの自立までの備えの為に続けてご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。これまでNGO団体が運営する学校に通っていた1人の男の子は、学習障害などの問題があり、学びにおいて通常の2、3倍も時間がかかるような状態が続きましたが、今回、6年生を無事に終え、10月から新しい中学校に行くことになりました。皆様の継続したご支援を通して、いろいろな問題もある中で、子ども達の1人1人が、将来に希望を持って進んでゆくことができていますことを、本当に感謝しています。



次の学年に進級する子ども達、嬉しいそうです

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝致します。

9月7日(金)、スモーキーマウンテンの子どもたちに、美術の授業で使う道具と制服を作るための費用を渡し、学校の費用の一部を納めることが出来ました。

子どもたちにはまだ学校用の靴や体育の運動着がありません。新学期が始まって既に3ヶ月経ちましたが、今年度の就学支援生50名のために、現在まだUS\$4,470(約45万円)が不足しています。どうかこのために皆様のご支援を、よろしくお願い致します。

9月は学校の運動会(9/25)と、作文と音楽のコンテスト(9月27日)が行われます。これらの行事を通して、子どもたちは自分を表現することを学び、自分の価値や可能性を発見し、自信を付けていきます。皆様のご支援によって、子どもたちの未来は明るい希望に溢れたものへと変えられています。どうか引き続き皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。



子どもたちに学用品を配布しています

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心か感謝申し上げます。

ザンビアはようやく気温が上がり始めたと思ったら、あっという間にハエと蚊も増え始めて、格闘するようになってしまいました。高校3年の最終学期が始まった子ども達は、最終試験に向けて、ますます気を引き締めて勉強しています。

スティーブンとデヴィッドは幼少より、日本で技術を学ぶことを希望しており、それは今も変わっていません。本人達はどの様な技術であっても習得する気持ちでいます。

そのために、技能実習生か、就労者としてビザを得ることが可能になります。幸いなことに、現在日本は労働力不足のため、外国人の就労ビザ取得は緩和されているとのこと。日本で質の高い技術を学び、それをザンビアに持ち帰って、いづれは起業することを期待しています。いま、2人を受け入れてくださる自営業者等を求めています。どうかお知り合いの方々に、お声掛け頂けると幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



孤児院に来たばかりの3人。今もう高校3年生とは...

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援を感謝いたします。

こちらでは長かった乾期がようやく明けそうで、ちらほら雨が降るようになってきました。

礎の石孤児院の土地のあるグアラパスには1週間に一回は行って、土地を見に行っています。敷地内の池に全く水がなくなり、雨が降るよう願うばかりです。

さて、スーパーでちょっと会話したことがきっかけで知り合いになったカチアさんが、待望の赤ちゃんが生まれたそうで写真を送ってくださいました。ご主人は公認建築技師で、礎の石孤児院の働きに協力すると言ってくさっています。

さらに協力関係が開かれますよう、願っています。皆様のさらなるご支援を引き続きどうぞよろしくお願い致します。



シェアハウスの前で松本スタッフ